



冬
未
来

Winter Chants

TUFS Cinemaとは……

東京外国語大学TUFS Cinemaは、映画を通じ、世界の諸地域における社会・歴史・文化の理解を深めることを目的としています。

香港映画上映会『冬未来』は、2020年末に香港の蠔涌村で行われた祭事「太平清醮」のドキュメンタリーです。

祭りを巡る村の人間模様を通して、2010年代香港の社会情勢の変化や新型コロナウイルスの流行という特異な時代が映し出される貴重な記録ともなっています。

上映後解説／トーク：

曾翠珊（ツァン・ツイシャン）監督



2001年、香港演藝学院映画テレビ学科を卒業（音響デザイン専攻）。2005年、香港城市大学クリエイティブ・メディア学院修士課程を修了。2008年、『恋人路上』で長編映画デビューし、台湾の南方影展（South Taiwan Film Festival）で最優秀長編映画賞を受賞。2011年、長編2作目となる『ビッグ・ブルー・レイク』は、香港映画評論学会の年間推薦作品に選出、香港電影金像獎で最優秀新人監督賞を受賞。様々な国際映画祭で数々の賞を受賞している。

上映日時 2025年

1月13日【月・祝】

13:30上映開始（開場13:00、終了予定16:30）

場所 東京外国語大学

アゴラ・グローバル プロメテウス・ホール
（東京都府中市朝日町3-11-1、西武多摩川線「多磨」駅下車 徒歩5分）

映画『冬未来』本編上映（102分）

上映後解説／トーク

曾翠珊（ツァン・ツイシャン）（監督）

小栗 宏太（東京外国語大学
アジア・アフリカ研究所 ジュニア・フェロー）

司会 倉田 明子（東京外国語大学 准教授）

共催 東京外国語大学 TUFS Cinema

JSPS 22H03829 『中国統治』と香港の変容：権威主義化の社会に対する影響の多角的分析

協力 東京外国語大学多言語多文化共生センター

入場無料
事前登録は ▶▶▶
こちら



<https://sanda.tufs.ac.jp/event/tc250113form-2/>

※事前登録がなくてもご来場いただくことは可能ですが、事前にご登録いただくとスムーズにご入場いただけます。

定員を超える場合は、事前登録を済ませた方を優先させていただきます。

[お問合せ]
東京外国語大学 広報・社会連携課
(TUFS Cinema担当)

TEL 042-330-5441
(平日9:00-17:00 12:00-13:00は除く)

Email tufscinema@tufs.ac.jp

詳細は TUFS Cinema ウェブサイトにて
<https://www.tufs.ac.jp/tufscinema/>



上映日

2025年1月13日(月) 13:30上映開始(13:00開場、16:30終了予定)

香港映画上映会

冬未来

監督: 曾翠珊(ツァン・ツイシャン) 制作: 鄭珮詩、許志堅
撮影監督: 麥智坤 編集: 雪蓮、姜善恒、曾翠珊
音楽: 茂野雅道 音響: 陳振邦

受賞歴: 第47回香港国際映画祭入選
第15回DMZ国際ドキュメンタリー映画祭入選
第42回バンクーバー国際映画祭入選
Heaven Picture Young Director Award, HAF 2021

あらすじ

香港東部、西貢にある蠔涌村。この村では、10年に一度「太平清醮」という大きな祭りが行われる。神々を祀り、息災を祈るこの祭りは、村外や海外に移住した人々が帰省し、村の関係者が一堂に会する貴重な機会でもある。しかし2020年末に行われる予定だった太平清醮は、新型コロナウイルス感染症の流行により、開催が危ぶまれる事態に陥った。

本作は、この蠔涌村を故郷とする監督が、太平清醮を巡る村の人間模様を記録したドキュメンタリーであり、前回開催時の2011年に撮影された『河の流れ 時の流れ』(原題: 河上變村; 2014年)の続編である。ある村の10年振りの祭りを通じて、大きな変化を遂げた村、そして香港の姿と、そこを故郷とする人々の様々な想いが浮き彫りになる。

2023年/香港(中国)/102分/広東語、英語/日本語、中国語、英語字幕
/原題 冬未来 Winter Chants

本作について

本作品は、香港新界における重要な祭事である「太平清醮」の内側に密着したドキュメンタリーである。地域ごとに(多くの場合は)5年ないし10年間隔で開催される「太平清醮」は、都市部とは全く異なる伝統を保ち続けてきた香港の農村・漁村を象徴する祭事であり、学術的研究の対象ともなってきた。

ツァン監督の故郷でもある蠔涌村で2020年に開催された太平清醮を記録した本作は、こうした村の伝統習俗の記録としての価値はもちろんのこと、時代特有の価値も有している。

一つには、世界的な新型コロナウイルス感染症の流行の最中での開催となったことで、コロナ禍の記録そのものとなったことである。

また、今回の祭りが行われるまでの10年間は、香港社会が雨傘運動や逃亡犯条例改正反対運動をはじめとする社会運動や、国家安全維持法の導入などの重大な政治変動を経験してきた期間でもある。2010年代香港社会の激動を既存の報道や研究、創作とは異なる視点で映し出した作品としても大きな価値がある。

会場

東京外国語大学 アゴラ・グローバル プロメテウス・ホール
(東京都府中市朝日町3-11-1)

お問い合わせ

東京外国語大学 広報・社会連携課(TUFS Cinema担当)
TEL 042-330-5441(平日9:00~17:00 12:00~13:00は除く)
Email tufscinema@tufs.ac.jp
Facebook @tufscinema.pr X(Twitter) @tufscinema

入場無料/事前登録制

<https://sanda.tufs.ac.jp/event/tc250113form-2/>



上映後解説/トーク

曾翠珊(ツァン・ツイシャン) (監督)

小栗 宏太(東京外国語大学アジア・アフリカ研究所
ジュニア・フェロー)

司会: 倉田 明子(東京外国語大学 准教授)

交通アクセス



- ◆JR中央線「武蔵境」駅のりかえ 西武多摩川線「多磨」駅下車 徒歩5分(JR新宿駅から約40分)
- ◆京王電鉄「飛田給」駅北口より多磨駅行き京王バスにて約10分「東京外国語大学前」下車